

越前国府1300年の歴史と文化が薫る 安らぎのまち「武生」

～参画と協働による、住みよくにぎわうまち～

第2期

中心市街地活性化基本計画（概要版）

【平成25年4月～平成30年3月】



（平成25年3月）

越 前 市

中心市街地の現状と課題

中心市街地活性化の必要性

人口減少、少子高齢社会の進展や成熟社会への移行により、厳しい財政運営が迫られていることから、これまでに整備を進めてきた社会基盤を有効に活用しながら、地域の特性を活かしたコンパクトで暮らしやすく、持続可能な都市を目指すことが求められています。

このようなことから、むやみに都市機能を拡散させない『抑制・誘導策』と、中心市街地活性化事業等の魅力ある市街地の形成を図る『推進策』の、両面からの施策によるまちづくりを進める必要があります。

位置図



区域図



区域の範囲

町内会数：24	面積：約123ha
【東地区】	府中一・二・三丁目、吾妻、住吉、堀川、錦、万代、天王、蓬萊、幸、国府一、二丁目、桂
【西地区】	本、元、京町一・二・三丁目、本多一丁目、平和、若松、高瀬二丁目の一部
【南地区】	神明

区域に隣接して立地し、市民活動の場ともなっている「福井鉄道 北府駅」と「武生中央公園」および「日野川河川緑地」を中心市街地の活性化に寄与する公共公益施設として位置づけます。

第1期計画の概要

計画期間：平成19年11月～平成25年3月（5年5ヶ月）

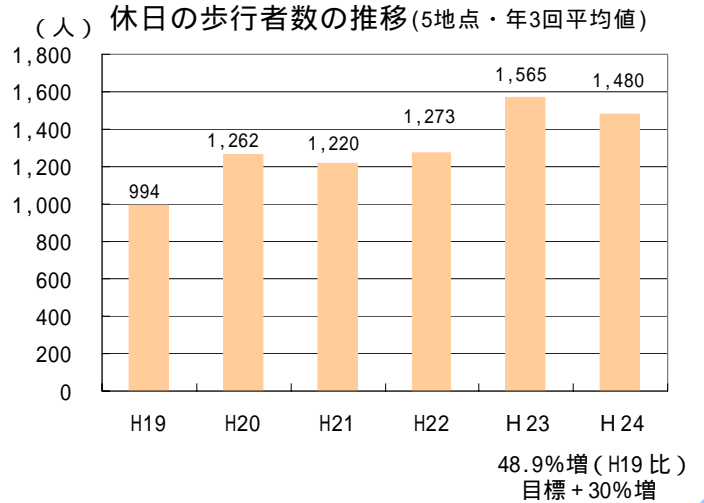
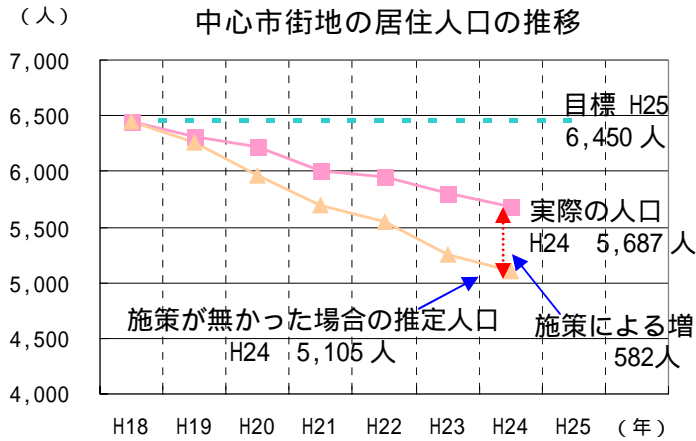
事業数：51事業（完了及び実施中 48、未実施 3、事業進捗率 94.1%）

目標	指標	基準値 H19	目標値 H24	最新値 H24.4.1
住みよく多様な 住まい方ができる 中心市街地	居住人口	6,320人	6,450人 (+2%)	5,687人 (-10.0%)
		施策による 人口増	685人	582人
多様な主体の 活動と交流による “にぎわう”中心市街地	休日の 歩行者数	994人	1,300人 (+30%)	1,480人 (+48.9%)

達成状況

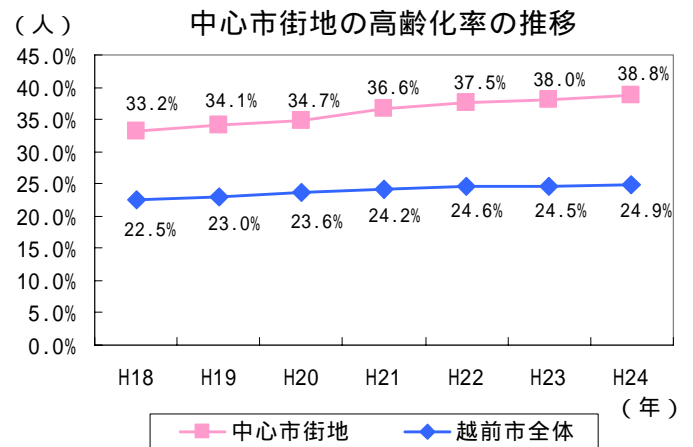
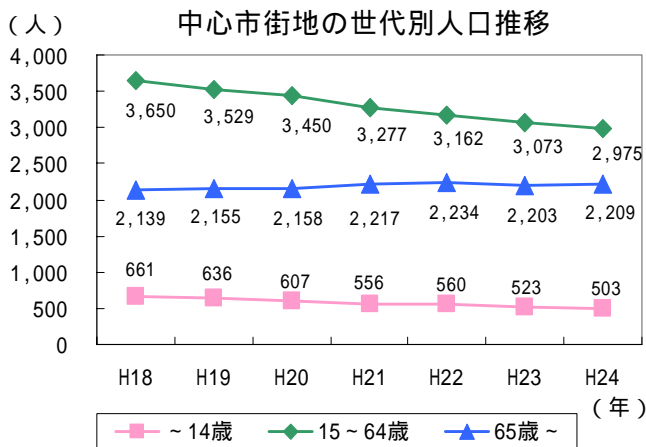
人口は施策により減少に歯止めがかかりましたが、依然減少傾向にあります。(H24.4.1時点でH19比 10.0%)

休日の歩行者数は、計画された事業の効果が見られており目標達成可能と見込まれます。

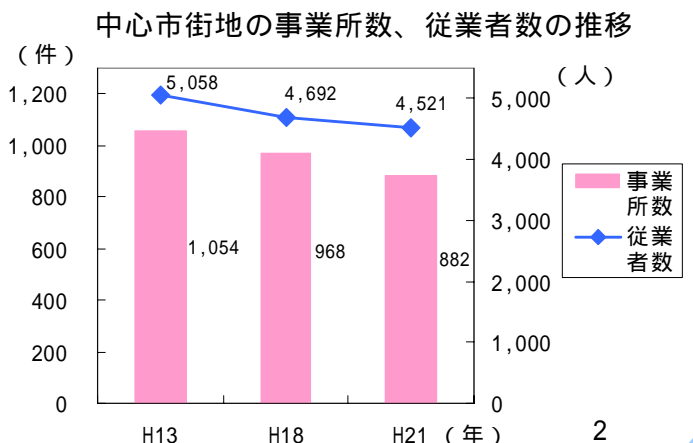
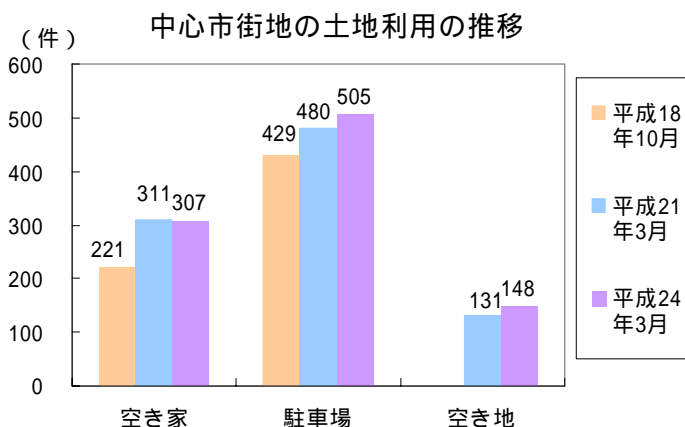


課題

生産年齢人口(15~64歳)と年少人口(14歳以下)が減少傾向にあり、高齢人口(65歳以上)が増加傾向にあることから、今後さらなる空洞化と活力の低下が懸念され居住人口の増加を図る必要があります。



空き家、空き地が増加傾向にあり、事業所数も大きく減少しています。事業所等の多様な都市機能の向上を図るため、土地や建物の有効活用を進める必要があります。



第2期計画の概要

越前国府1300年の歴史と文化が薫る安らぎのまち「武生」

サブテーマ[参画と協働による、住みよくにぎわうまち]

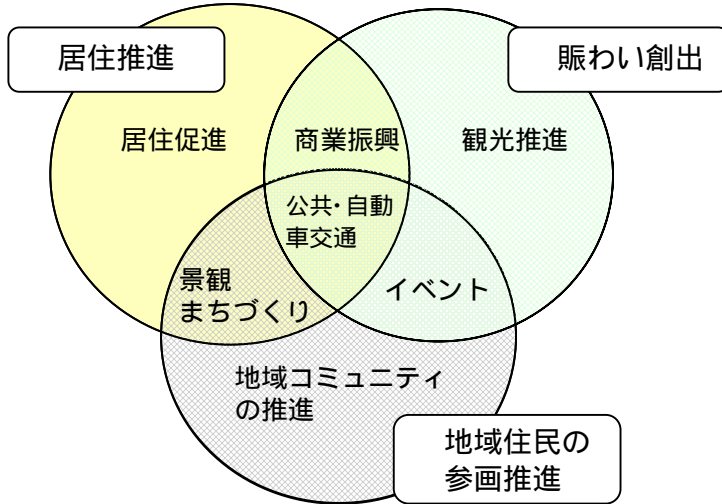
期間	第1期計画 H19年11月～H25年3月	第2期計画 H25年4月～H30年3月
位置付け	長期的な空洞化に歯止め、活性化に向けた足固め	これまでの基盤を活かした活性化の継続・発展

長期ビジョン 10年後
暮らしに便利で、安らぎのある、住みよいまち さまざまな人が訪れ、交流し、にぎわうまち



<体系図>

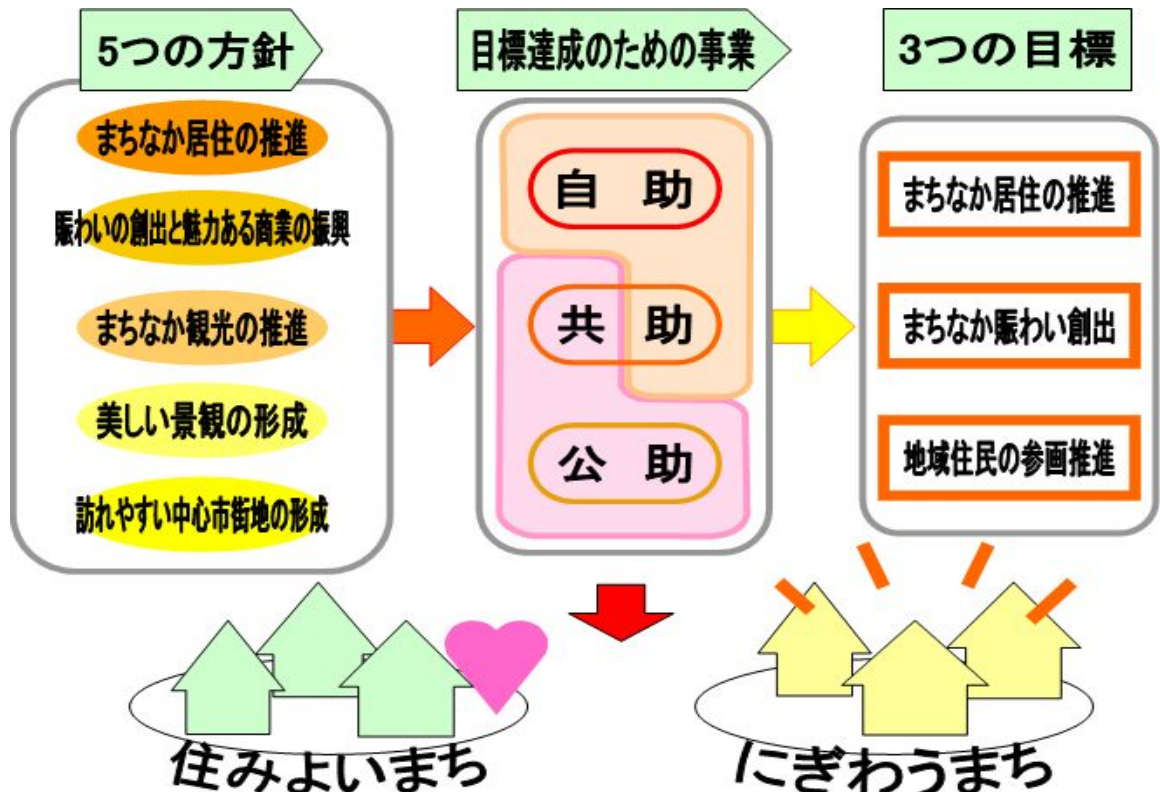
住みよいまち・にぎわうまち



目標の考え方

第1期計画の“まちなか居住”や“賑わいの創出”を引き続き推進します。また、まちづくりを進めるためには、「越前市自治基本条例」の基本理念である自助・共助・公助の考えに基づく市民主体のまちづくりが重要です。

よって、第2期計画では、“地域住民の参画推進”を目標に加え、その取り組みをさらに強化します。



指標

	基準値	数値目標
① まちなか居住の推進 施策による人口増加数（人）	高齢者向け住宅施策による増加数 210人 上記施策以外による増加数 372人 <small>（第1期施策による成果）</small>	高齢者向け住宅施策以外による増加数 380人 <small>（平成24年度比増）</small>
② まちなか賑わい創出		
休日の歩行者数（人）	1,282人¹ <small>（平成24年度実績値）</small>	1,420人 <small>（平成29年度）</small>
店舗開業支援認定件数（件）	37件 <small>（平成24年度推定値）</small>	57件 <small>（平成29年度）</small>
③ 地域住民の参画推進 中心市街地活性化に寄与する活動回数（回）	43回 <small>（平成24年度計画値）</small>	55回 <small>（平成29年度）</small>

計画期間 平成25年4月～平成30年3月

¹ 計測地点を変更したため、第1期計画最新値(H24.4.1)とは異なる。

主な施策

1. 歩いて暮らせる“まちなか居住”の推進

まちなか居住の魅力をアピールするとともに、住宅の供給促進など居住環境の整備に取り組めます。また、歩道のバリアフリー化など安心安全な歩行空間の整備に努めます。

まちなか住宅取得支援事業【新規】



まちなか空き家等リフォーム支援事業【新規】



民間優良共同住宅整備促進事業、まちなか住宅団地整備費補助事業、新婚夫婦家賃補助事業など

2. 多様な主体の活動と交流による“にぎわい”の創出と“魅力ある商業”の振興

にぎわいを創出する事業や意欲ある商業者グループ、中心市街地への新規出店者に対し支援を継続していきます。また、商業者や事業者の積極的な地域活動への参画を推進します。

こしのくに国府サミット関連事業【新規】

まちなか賑わい創出支援事業



まちなか観光客誘客促進事業、まちなか事業・地域助け合いビジネス支援事業、中心市街地等空店舗活用支援事業、空き家・空き店舗等活用コミュニティ推進事業など

3. 越前の歴史・文化やモノづくり、食を発信する“まちなか観光”の推進

市内外の人々が中心市街地を訪れ、歴史・文化や街並み、伝統工芸、食文化などを通して、五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、臭覚）に訴える“まちなか観光”を推進します。また、越前市観光協会を中心に関係機関との連携を深め、賑わい創出とのネットワーク化を進めます。

観光情報発信事業

食のブランド化事業



観光・匠の技案内所、まちなかプラザ運営事業、越前府中まちなか博物館事業、おもてなしの店推進事業、武生公会堂記念館展示整備事業など

4. 歴史、水、緑を大切にした“美しい景観”の形成

歴史的な街並みや建築物が残されている地区において、その地区固有の歴史・文化を掘り起こし、歴史資源の保全・活用が図れるよう、継続した取り組みを行っていくことが必要です。また、景観計画・景観条例により、歴史、水、緑を大切にしたい美しい景観形成を推進します。

街並み景観整備事業



景観啓発事業



福井の伝統的民家普及促進事業、福井の歴史的建造物保存促進事業など

5. 誰もが“訪れやすい”中心市街地の形成

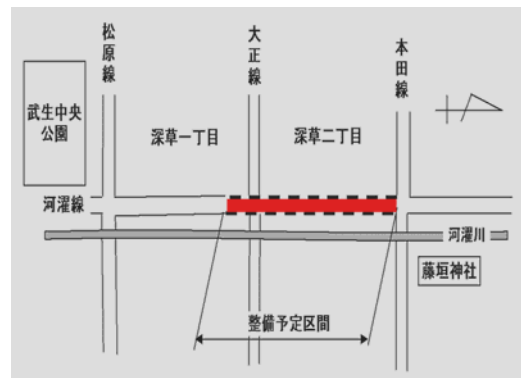
都市計画道路河濯線の整備を進め、郊外から中心市街地へのアクセス性向上と、市街地の通過交通の減少を図るとともに、歩行者や自転車が安心して通行できる道路空間の確保に努めます。

また、まちなか駐車場の舗装等の整備を行い、利用促進を図ります。

まちなかプラザ駐車場整備・運営事業

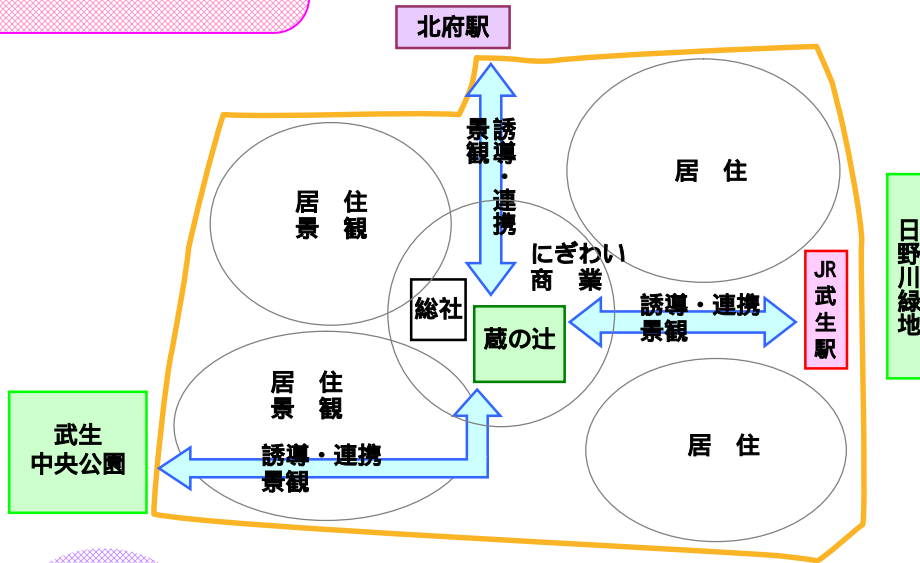


(都)河濯線整備事業【新規】



パークアンドライド対応駐車場を確保する事業、市民バス運行関連事業など

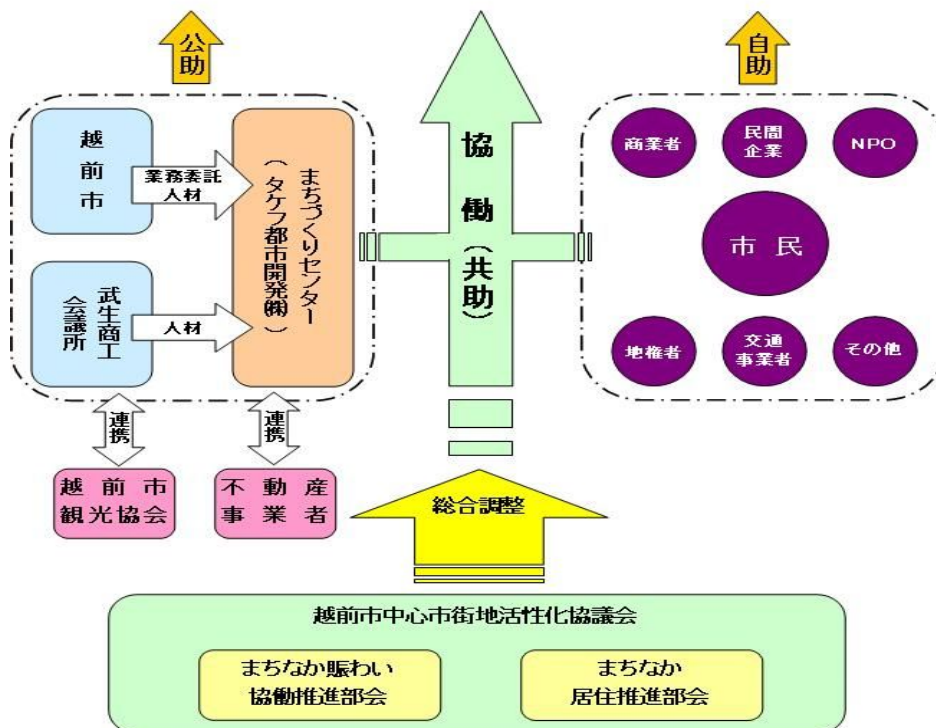
まちづくりのイメージ



推進体制

市民との協働 市民（区域住民・商業者・NPO・地権者・民間企業等）と越前市・武生商工会議所・越前市観光協会・タケフ都市開発(株)が、まちづくりセンターを拠点に協働体制を構築しながら、基本計画に基づいて事業を推進します。

中心市街地活性化



問い合わせ先

TEL 0778-22-3012

越前市建設部都市計画課 中心市街地活性化推進室

FAX 0778-22-9999

E-mail keikaku@city.echizen.lg.jp